

試合会場レポート

[試合番号]C4

[開催日]2018/05/13

[会場]結城市鹿窪運動公園かなくぼ総合体育館

[観客数]1000

[開始時間]14:29

[終了時間]15:33

[試合時間]1:04

[主審]横須賀 威之

[副審]小松崎 泰洋

[記録員]阿部 幸次郎

女子：決勝戦

土浦日本大学高等学校	2	29	第1セット 【0:31】	27	0	大成女子高等学校
監督：伊藤 祐樹		26	第2セット 【0:30】	24		監督：花野 裕詳
コーチ：今村 直美			第3セット 【 : 】			コーチ：市原 英

【 】内はセット時間

戦評

決勝戦は10年ぶりの顔合わせ、45回目の関東大会出場を果たした古豪の大成女子高等学校と、28回連続出場を決めた土浦日本大学高等学校の好カードとなった。

第1セット、序盤サーブミスに苦しんだ大成女は、必死にリズムを戻そうと磯前にボールを集める。それに対し土浦日大は、多彩なコンビ攻撃から得点を重ねる。どちらも粘りあるレシーブで長いラリーが続き、我慢勝負の展開となった。中盤16点までは一進一退の攻防となったが、土浦日大は村野のドライブサーブが走り大成女がタイムアウト。その後も村野のサーブが続き、土浦日大がつき離しにかかった。大成女はリベロ北島の好レシーブから徐々にリズムを戻し、6点差から一気にジュースに持ち込む。しかし、最後は土浦日大が中村のブロックでセットを奪った。

第2セット、スタートは大成女が得点を重ねる。大成女・東谷のサービスエースで土浦日大が1回目のタイムアウト。その後も土浦日大はリズムを作れず6点差をつけられる。しかし、大成女もミスが続く苦しい展開になり、2点リードまで縮まり1回目のタイムアウト。その後、土浦日大は村野、杉山にボールを集めるが、ことごとく大成女のレシーブに阻まれる。リズムを変えようと必死の土浦日大は、萩原、小高とピンチサーバーを投入するも、後が続かない。終盤20-16と4点差がついたところで土浦日大が2回目のタイムアウトをとると、大成女は磯前のアタックミスなどについて21-21と追いつかれる。その後は一進一退になり、このセットもジュースになる。最後は土浦日大が、佐々木の連続得点で大成女を振り切り、2年ぶり優勝を飾った。